

皆様のシステム構想作りをお手伝いします。  
**リンクレアは、独自の的方法論「CANVAS-SA®」を用いて、**

企業の競争優位性を確保するためには、ITを積極的に活用し、経営戦略に沿った情報システムの構築が不可欠です。

しかし、現実には、

—トップ、現場に言われるまま開発した、焦点のぼけた総花的システム

—経営戦略・目的や業務と情報システムとの不整合

—トータルコスト(システム構築コスト、運用コスト)の増大

など、発注者の期待に反する情報システムが、数多く見受けられます。

多大なコストをかけて構築する情報システムには、見積もった費用・期間の範囲内での経営目的の達成、利用者の満足など質の高さが求められており、上流工程がその要となります。

リンクレアは、コンサルティングの実践から編み出した独自の的方法論「CANVAS-SA®」を用いて、皆様のシステム構想作りを必ず成功へと導くために、さまざまな角度からお手伝いいたします。

**上流工程とは**

真のニーズを明らかにし、コンセプト、将来のビジネスプロセス、システム開発のマスタープランを策定し、情報システム開発を構想するプロセスです。

**[上流工程でのポイント]**

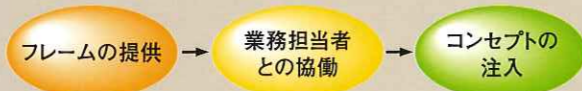
1. 「現場のニーズ」からいかにして「真のニーズ」を導き出すか。
2. 「真のニーズ」からいかにして「業務課題」、「システム課題」や「コンセプト」を導くか。
3. システム課題を実現するための「2つのアーキテクチャ(ビジネスプロセスと実現化方式)」を、どう考えるか。

**CANVAS-SA®とは**

リンクレアが永年の情報システム構築の実践から編み出した独自の上流工程方法論です。

**[CANVAS-SA®の特徴]**

1. 一貫して経営目的とシステムの関係を追求している。
2. 業務担当者巻き込みの仕組みがある。(現場には智慧がある)



3. 単なる手順ではなく、実践を通じたノウハウのかたまりである。

**「CANVAS-SA®」に基づく上流工程の進行手順**

ステップ	STEP1	STEP2	STEP3	STEP4	STEP5	STEP6	STEP7	STEP8	開発業務へ
留意点	すぐ調査に入るな	ニーズは無限大なり	真のニーズを導き出せ	システムコンセプトを確立せよ	運用なくしてシステムは語れず	実現可能性を追求せよ	将来を見据えたマスタープランを立てよ	ユーザの意向に合っているのか	初めてモノ創りに入るべし
考え方の流れ	経営方針・戦略・目的の把握	現場のニーズ 不足しているものを追加 無駄なものを削除	真のニーズ	業務課題 システム課題 目的 コンセプト	アーキテクチャ FUTURE TRANSITION PRESENT	アーキテクチャ FUTURE TRANSITION PRESENT	マスタープラン	意思決定	設計 → 製造 → 検証 → 移行 → 運用
目的	背景の確認・共有化	現状の調査・分析	現状の診断	新システム課題の統合化	ジョブ・アーキテクチャ	システム・アーキテクチャ	マスタープランの策定	報告と承認	
内容	新しい情報システムを構想するに至った背景を確認し、経営の観点に立って自分なりのシナリオを立て、共有化する。	新システムの対象業務の現状を、構造データおよび認識データの両面から調査・分析する。	問題点・ニーズを洗い出し、その全体を評価し、対象範囲・改善改革の方向性を明らかにする。	新システムの課題および目的を設定し、システムコンセプトへの統合を行う。	新システム導入後の業務のあり方について検討する。	ジョブ・アーキテクチャに基づいて、システム化の実現手段を検討する。	新システム開発方針を策定し、期待効果および開発コストを見積もる。	意思決定者にシステム構想を取りまとめ報告し、システム開発の承認を得る。	情報システム構築
主要成果物	背景確認シート	業務情報ダイアグラム	問題点・ニーズ診断表	・システム課題の優先順位表 ・システム化目的 ・システムコンセプト	BPチャート	システム構成	開発方針	システム構想書	

情報化ニーズ

知的変換プロセス

情報システム